

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133 A-169	22-033	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Characteristics of drinking episodes associated with simultaneous alcohol and cannabis use among underage drinkers in the United States 米国における未成年飲酒者のアルコールと大麻の同時使用に関連する飲酒エピソードの特徴		
執筆者		
LoParco CR, Webb N, Subbaraman MS, Lin HC, Trangenstein PJ, Yockey RA, Rossheim ME.		
掲載誌		
Addict Behav. 2023 Jan;136:107501. doi: 10.1016/j.addbeh.2022.107501.		
キーワード	PMID	
思春期、マリファナ、多剤併用、10代、青年	36181745	
要 旨		
<p>目的: アルコールと大麻の同時使用 (SAC) は、アルコールまたは大麻を単独で使用するよりも、より多くの負の事象と関連している。飲酒エピソードの文脈的特徴は、飲酒量およびそのリスクと関連していることから、本研究では、飲酒の文脈が SAC と関連するかどうかを検討した。</p> <p>方法: 米国薬物乱用・健康調査 (NSDUH) における 12~20 歳 (n=39,456) の 2010-2019 年の過去 30 日間の飲酒者データを用いた。加重多変量ロジスティック回帰モデルにより、文脈特性 (アルコール摂取源、人数、飲酒場所) と直近の飲酒機会における SAC との関連を検討した。モデルは、調査年、大量飲酒、年齢、性別、人種・民族、学生かどうか、大都市圏かどうかで調整した。</p> <p>結果: 5 人に 1 人以上の飲酒者が SAC を報告した。親や家族から酒を入手する場合と比較して、家庭から持ってきた人 (OR = 1.51, 95%CI = 1.24, 1.84), 別の方法で無料でもらった人 (OR = 2.30, 95%CI = 2.05, 2.59), 他の人にお金を払ってもらった人 (OR = 2.83, 95%CI = 2.46, 3.25), 自分で買った人 (OR = 3.12, 95%CI = 2.66, 3.67) は SAC のオッズ比がより高いことが示された。また、一人での飲酒と比較して、二人以上での飲酒は SAC のオッズ比が高かった (OR = 1.36, 95%CI = 1.12, 1.66)。自宅での飲酒と比較して、バーでの飲酒 (OR = 0.51, 95%CI = 0.41, 0.64) は低かったが、他人の家 (OR = 1.12, 95%CI = 1.02, 1.22), 車 (OR = 1.36, 95%CI = 1.04, 1.77), または複数の場所 (OR = 1.29, 95%CI = 1.09, 1.53) では、SAC のオッズ比が高かった。</p> <p>結論: 未成年飲酒者におけるアルコール関連の文脈的特徴は、SAC と関連することが示唆された。未成年者の飲酒に対処する法律 (社会的ホスト責任や未成年者への販売など) は、アルコールと大麻の同時使用を減少させる可能性がある。</p>		